



## 2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年1月30日

上場会社名 因幡電機産業株式会社 上場取引所 東

コード番号 9934 URL <https://www.inaba.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 玉垣 雅之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 溝越 尚人 TEL 06-4391-1781

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年3月期第3四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
2026年3月期第3四半期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	291,607	6.9	20,832	20.2	22,572	22.0	15,736	24.0
2025年3月期第3四半期	272,762	12.4	17,337	15.4	18,506	16.0	12,695	15.0

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 23,073百万円 (74.6%) 2025年3月期第3四半期 13,216百万円 (8.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2026年3月期第3四半期	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	139.92	138.37
	112.87	111.40

(注) 当社は、2025年12月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2026年3月期第3四半期	百万円	百万円	%
2025年3月期	282,809	185,371	65.4
	278,983	173,023	61.8

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 184,854百万円 2025年3月期 172,429百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
	—	60.00	—	80.00	140.00
2026年3月期	—	70.00	—		
2026年3月期(予想)				35.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2025年3月期の期末配当金には、特別配当10円が含まれております。

当社は、2025年12月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2026年3月期(予想)の1株当たり期末配当金については、当該株式分割の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「—」として記載しております。なお、当該株式分割を考慮しない場合の2026年3月期(予想)の1株当たり期末配当金は70円00銭となり、1株当たり年間配当金は140円00銭となります。

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%		
通期	392,000	2.1	26,700	4.5	27,400	2.6	19,400	3.3

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

当社は、2025年12月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2026年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式分割の影響を考慮しております。なお、当該株式分割を考慮しない場合の1株当たり当期純利益は、345円71銭となります。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期 3Q	113,659,600株	2025年3月期	113,648,400株
② 期末自己株式数	2026年3月期 3Q	2,048,468株	2025年3月期	1,415,208株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期 3Q	112,473,287株	2025年3月期 3Q	112,478,606株

(注)当社は、2025年12月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 経営成績等の概況

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

## 1. 経営成績等の概況

### （1）当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用および所得環境の改善を背景に個人消費に持ち直しの動きが見られるなど緩やかな回復傾向を示した一方で、物価上昇や金融資本市場の変動、米国の通商政策の影響など景気の下振れリスクもあり、依然として不確実性の高い状況が続きました。

当社グループの係わる電設資材業界は、物流コストや資材価格の上昇などの影響があったものの、大都市圏の再開発や企業の設備投資需要を背景に底堅く推移しました。また、自社製品の係わる空調業界は、全国的な猛暑などによりルームエアコンの出荷（国内748万台 前年同期比4.0%増）は堅調に推移しました。

このような情勢のなか、当社グループは中長期的な経営戦略に沿って重点施策を着実に推進するとともに、積極的な営業活動を展開しました。

その結果、売上高は2,916億7百万円（前年同期比6.9%増）、営業利益は208億32百万円（前年同期比20.2%増）、経常利益は225億72百万円（前年同期比22.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は157億36百万円（前年同期比24.0%増）となり、第3四半期決算として過去最高業績を更新しました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ＜電設資材事業＞

電設資材全般において物流コストや原材料価格の高騰などによる販売価格の上昇が継続しました。大都市圏の再開発や工場、データセンターなど大型物件向けの納入が好調に推移し、商品別では受配電設備や空調設備などの販売が増加したほか、銅価格の高騰が電線ケーブル類の売上に寄与しました。その結果、売上高1,997億26百万円（前年同期比8.1%増）となりました。

#### ＜産業機器事業＞

半導体関連の在庫調整の影響が縮小したことや、人手不足に伴う省力化・自動化需要の拡大などを背景に製造業における設備投資に持ち直しの動きが見られたことにより、制御機器類の販売が増加したほか、電子部品においても底堅く推移しました。その結果、売上高302億54百万円（前年同期比8.1%増）となりました。

#### ＜自社製品事業＞

ルームエアコンの出荷が堅調に推移したことに加え、前年度上半期に価格改定前の駆け込み需要が発生したことや北日本における販売が上振れしたことによる反動減の影響が薄れたことで、第3四半期に入り主力製品である被覆銅管や空調配管化粧カバー「スリムダクトシリーズ」などの販売が増加しました。連結子会社の㈱パトライ特においては、海外向け販売が好調に推移しました。その結果、売上高616億26百万円（前年同期比2.7%増）となりました。

### （2）当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末における総資産額は、前連結会計年度末に比べ38億25百万円増加し、2,828億9百万円となりました。これは主に保有株式の時価上昇に伴う投資有価証券の増加によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における負債総額は、前連結会計年度末に比べ85億22百万円減少し、974億37百万円となりました。これは主に仕入債務の減少によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産総額は、前連結会計年度末に比べ123億47百万円増加し、1,853億71百万円となりました。これは主にその他有価証券評価差額金及び利益剰余金の増加によるものであります。

### （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の業績予想につきましては、現時点において2025年5月15日公表の業績予想から変更しておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流动資産		
現金及び預金	62,062	63,879
受取手形、売掛金及び契約資産	76,507	60,341
电子記録債権	33,751	35,849
有価証券	15,000	15,000
商品及び製品	22,680	24,553
仕掛品	367	250
原材料及び貯蔵品	2,763	2,469
その他	2,591	3,891
貸倒引当金	△3	△3
流动資産合計	215,720	206,232
固定資産		
有形固定資産		
土地	14,099	14,018
その他（純額）	7,336	7,715
有形固定資産合計	21,435	21,733
無形固定資産	2,673	3,104
投資その他の資産		
投資有価証券	19,974	31,832
その他	19,185	19,910
貸倒引当金	△5	△4
投資その他の資産合計	39,154	51,738
固定資産合計	63,262	76,576
資産合計	278,983	282,809

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流动負債		
電子記録債務	7,330	5,953
買掛金	75,028	67,874
短期借入金	232	231
未払法人税等	4,941	1,779
賞与引当金	7,363	4,497
役員賞与引当金	125	144
その他	5,169	6,894
流动負債合計	100,190	87,375
固定負債		
退職給付に係る負債	45	56
その他	5,724	10,005
固定負債合計	5,769	10,061
負債合計	105,959	97,437
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	14,521	14,529
資本剰余金	14,729	14,737
利益剰余金	138,223	145,147
自己株式	△2,756	△4,608
株主資本合計	164,717	169,806
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,861	14,139
繰延ヘッジ損益	△0	0
為替換算調整勘定	851	908
その他の包括利益累計額合計	7,711	15,048
新株予約権	593	517
純資産合計	173,023	185,371
負債純資産合計	278,983	282,809

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	272,762	291,607
売上原価	225,929	239,390
売上総利益	46,832	52,217
販売費及び一般管理費	29,495	31,384
営業利益	17,337	20,832
営業外収益		
受取利息	104	264
受取配当金	687	1,145
その他	451	453
営業外収益合計	1,242	1,863
営業外費用		
支払利息	15	16
保険解約損	34	75
その他	23	31
営業外費用合計	73	123
経常利益	18,506	22,572
特別利益		
投資有価証券売却益	188	74
固定資産売却益	2	5
特別利益合計	191	79
特別損失		
固定資産除却損	4	2
固定資産売却損	—	0
減損損失	173	—
特別損失合計	178	2
税金等調整前四半期純利益	18,519	22,649
法人税、住民税及び事業税	5,381	5,845
法人税等調整額	442	1,066
法人税等合計	5,824	6,912
四半期純利益	12,695	15,736
親会社株主に帰属する四半期純利益	12,695	15,736

## (四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	12,695	15,736
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	387	7,278
繰延ヘッジ損益	1	1
為替換算調整勘定	131	57
その他の包括利益合計	521	7,336
四半期包括利益	13,216	23,073
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	13,216	23,073

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書計 上額 (注) 2
	電設資材事業	産業機器事業	自社製品事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	184,746	27,996	60,018	272,762	-	272,762
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,685	478	3,391	5,554	△5,554	-
計	186,431	28,474	63,410	278,316	△5,554	272,762
セグメント利益	8,965	1,380	11,904	22,250	△3,730	18,519

(注) 1. セグメント利益の調整額△3,730百万円には、セグメント間取引消去69百万円、報告セグメントに配分していない全社損益△3,654百万円及びその他の調整額△145百万円が含まれております。全社損益は、主に報告セグメントに帰属しない売上原価、一般管理費、営業外損益及び特別損益であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の税金等調整前四半期純利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「自社製品事業」セグメントにおいて、売却予定資産について帳簿価額を回収可能価額まで減額しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において173百万円であります。

## II 当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書計 上額 (注) 2
	電設資材事業	産業機器事業	自社製品事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	199,726	30,254	61,626	291,607	-	291,607
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,932	376	3,535	5,844	△5,844	-
計	201,658	30,631	65,162	297,452	△5,844	291,607
セグメント利益	11,056	1,460	12,942	25,459	△2,809	22,649

(注) 1. セグメント利益の調整額△2,809百万円には、セグメント間取引消去62百万円、報告セグメントに配分していない全社損益△2,690百万円及びその他の調整額△182百万円が含まれております。全社損益は、主に報告セグメントに帰属しない売上原価、一般管理費、営業外損益及び特別損益であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の税金等調整前四半期純利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年10月31日開催の取締役会決議に基づき、自己株式1,494,900株の取得を実施し、当第3四半期連結累計期間において自己株式が3,546百万円増加しております。

また、ストック・オプションの行使による自己株式734,600株の処分に伴い、当第3四半期連結累計期間において自己株式が1,444百万円減少しております。

これらの結果、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が4,608百万円となっております。

なお、当社は、2025年12月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。自己株式数につきましては、当該株式分割後の株数を記載しております。

## (継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

## (四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	1,252	1,432